

						A	優	良
						B	良	好
						C	課	題
						D	要	改
						善		
施設名	川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課			
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】		
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。		A	老人福祉法や川西市条例に則って、老人の健康の増進、教養の向上を図り、設置目的に沿った成果が得られました。 特にコロナ禍でありましたが、当センターの新たな自主事業を3つ実施し、その1つの健康講座において受講生が中心となり新たな趣味の会「健康体操えがお」が誕生したことは大きな成果と言えます。他の趣味の会を含め16グループへの活動支援を行いました。	A	専門職を招き健康増進に向けた講習会を開催するなど、市の設置目的に沿った運営で、一定の成果を上げています。	意見なし		
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。		A	初回利用時には、施設利用と登録について丁寧に説明し、健康保険証や運転免許証、マイナンバーカード等で本人確認を行い、利用証を発行しました。	A	初回利用時は、身分証明書による本人確認を行い利用者証を発行するなど、適切な運営が行われています。	意見なし		
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。		A	健康体操の参加者は、市の広報に毎月掲載して募集します。コロナ禍ではありましたが、昨年11月以降は、一講座につき15名以上の申し込みがあり開催することができました。	A	利用者増につながるよう市の広報紙を活用しPRを行うなど、施設の周知広報活動を行っています。	意見なし		
< 課 題 >		施設設備の老朽化に伴う修繕が頻繁に発生しているため、計画的な改修等が必要です。		今後も老朽化による修繕等は必須となるため、より計画的に改修・修繕の計画を立てる必要があります。		意見なし		
< 改善内容 >		循環ポンプや雨水排水水中ポンプ、排煙オペレーターや温水ポンプ、ボイラーなどの取り換えや修繕、自家発電バッテリーの交換などを行い施設設備を整えました。		大規模修繕に関しては、計画性をもって事前に市と協議しなら進めてください。		意見なし		
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。		A	川西市健康体操協会所属の指導員による健康体操などを集会室において実施しました。 個人利用者は、入浴利用者、スカイウエル(交流電圧電位治療器)や血圧測定、マッサージ機を利用される方、囲碁将棋や図書室で読書を楽しまれる方です。 趣味の会は昨年より1グループ増えて16グループが登録されており、卓球やフォークダンス、俳句や書道など多種多様で、老人の健康の増進、教養の向上が図られました。	A	健康講座の開催など、利用者の生きがいや健康づくりに取り組まれています。 さらに多様な趣味グループの活動支援を通じて、利用者の教養向上を図る場として、有効に機能しています。	意見なし		
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。		A	昨年度、健康体操のみ年間4回実施しましたが、今年度は健康体操8回の他に、護身技法健康体操や気功体操、えがお健康体操など新たに3つの自主事業を実施しました。 新たな事業を企画するなど相違工夫を図った結果、参加者は、昨年度の3倍以上の194名となりました。	A	今年度は新たに3つの自主事業を実施するなど、利用者の増加に向けて創意工夫や努力がうかがえます。	意見なし		
< 課 題 >		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を継続して行い、利用者が求める自主事業の実施、入浴事業などに取り組むことが必要です。		新型コロナウイルス感染症対策のため、入浴事業や自主事業が中止となった時期もあり、高齢者の生きがいや健康づくりの機会の減少が懸念されます。		意見なし		
< 改善内容 >		密にならないよう人数制限や消毒、換気のための扇風機の設置などを徹底して行いました。 また、利用者の関心が高い健康に関する体操の講座を新たに3つ実施するとともに入浴事業等を行いました。		可能な限り感染症対策を行いながら、高齢者の健康や生きがいづくりにつながる事業を継続していく必要があります。		意見なし		
(1-3) 利用者の満足度		A		A		(1-3) 利用者の満足度		
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。		A	定期講座の「護身技法」において、アンケートを行いました。	A	施設のみならず、講座ごとにアンケートを実施し、利用者の意見に耳を傾けています。	意見なし		
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。		A	定期講座の「護身技法」において、グループ立ち上げについてのアンケートを実施し、良かったという評価を多くいただきました。 しかし結果的には、新しいグループの立ち上げまで求める参加者は少なくグループ誕生には至りませんでした。	A	利用者アンケートの結果に基づき、健康講座を開催するなどして、利用者の満足度を高める対応がとられています。	今後もアンケートの結果をふまえ、利用者のニーズに沿った講座等の実施に努めること。		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。		A	入館時の検温において、簡易な体温計を使用しており、正確な体温が図れないなどといった苦情があり、市へ顔認証の体温計の設置を強くお願いしたところ、市の補正予算に計上され対応いただきました。 センター入口及びその周辺で、スケートボードをしている子どもがおり危険などの苦情がありました。子どもを注意するとともに、入口付近の道路でのスケートボード禁止の張り紙をすることで防止することができました。このように苦情に対して適切に対応しました。	A	ご意見や苦情等について、素早く取り組み対応しています。	意見なし		
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。		A	館内に意見箱を設置し、意見や要望などを、受け付けられるようにしています。 利用者にあいさつや声掛けが行い、利用者の意見を把握し、職員間で協議し対応しました。	A	日ごろから利用者の方とコミュニケーションをとりながら、様々な意見を聞ける体制を整えています。	意見なし		

施設名		川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	A	優	良
							B	良	好
							C	課	題
							D	要	改
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。		A	1階玄関のカウンターにおいて、ほぼ全ての利用者にあいさつや声掛けが行われました。 体調の具合や体温測定の問題、センターに対する要望などについて、その場で対応ができました。	A	引き続き、利用者のサービス向上にむけて、丁寧な対応をお願いします。	意見なし			
< 課 題 >		センターの入り口が1階、実際のセンターは2階であることから、各階の現場で起きていることが、リアルタイムで確認できない状況です。トラブルなどにおいても、確認に時間を要する場合があります。		特になし。		意見なし			
< 改善内容 >		これまで以上に、センター1階と2階の連絡を常に取り合うとともに、2階のセンターにおいて、防犯カメラを可能な限り多く設置し、1階と2階において利用者等の状況を常に把握できるように改善することが必要です。		感染症対策を行いつつ、趣味の会等の会員の増や施設利用者数の増を目指し、ニーズの高い講座の開催や地域との連携など検討をお願いします。		意見なし			
2 効率性の向上に関する取り組み 【効率性】		A		A		2 効率性の向上に関する取り組み 【効率性】			
(2-1) 経費の節減		A		A		(2-1) 経費の節減			
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取り組みが行われ、その効果が得られたか。		A	センター内の照明は、電球の間引きを継続して行うとともに、小まめに消灯しました。また、扇風機も活用するなど電気の節減に努めました。 水道についても、職員が意識して日頃から節水に努めました。 図書は、川西市の図書館のリサイクル本などを活用したり、古本屋で購入しました。 新型コロナウイルスにより休館した場合は、清掃委託業務を休止し、経費の節減に努めました。	A	高齢者という利用者の特性に配慮しつつも、無理のない範囲で経費の節減に努めてください。	意見なし			
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。		A	物品の購入については、必ず相見積もりにより安価な業者やお店から購入しました。また、修理や業務委託などにおいても同様に、相見積もりにより安価な業者に発注しました。さらに、職員ができる修理は、できるだけ職員が行うようにしました。	A	物品の購入、修繕の実施に当たっては、複数業者から見積もりを取るなど、適切に運営しています。また、軽微な修繕などは職員が対応し、経費節減に努めています。	意見なし			
< 課 題 >		節電や節水などを、利用者に理解していただきながら職員が率先して行っています。 今後は、照明器具のLED化や空調設備本体のメンテナンス、老朽化した機材の更新による効果によって、経費の節減を図ることも必要です。		特になし。		意見なし			
< 改善内容 >		引き続き節電や節水を行うとともに、空調機器本体のメンテナンスを定期的に行うなど、川西市と協議しながら計画的に実施します。		設備の改修など、大規模な修繕工事については、計画的に進めて対応する必要があることから、市と綿密に協議が必要です。		意見なし			
(2-2) 収入の増加		評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加			
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
収入の増加など取り組みの効果は得られたか。									
< 課 題 >									
< 改善内容 >									
(2-3) 収支のバランスなど		評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど			
収支のバランスは、適切であったか。									
費用対効果を考えながら、経費の効率的で効率的な執行が行われたか。									

施設名		川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	A	優	良	
							B	良	好	
							C	課	題	含
							D	要	改	善
区 分			指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
収支の内容に不適切な点はなかったか。										
< 課 題 >										
< 改善内容 >										
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			A			A			3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	
(3-1) 管理運営の実施状況			A			A			(3-1) 管理運営の実施状況	
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。			A	再雇用職員1名(施設長)、臨時職員(常勤1名、非常勤2名)で調整を行い、常時3名体制で管理運営を行いました。		A	人員配置は適切です。		意見なし	
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。			A	研修会の参加などはありませんでしたが、利用者や市民からの相談があった場合に、センターとしてどう対応するかを職員間で協議しました。まず本人に寄り添い相談を受け入れ、そして了解を得ながら関係機関や団体、関係者へ丁寧に繋げて、相談支援を行うことを職員間で共有しました。		A	職員間で自主研修を行うなど、利用者サービスの向上に努められています。		意見なし	
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。			A	光熱水費の節減を、職員が常に意識して行いました。また、職員ができる修理は、職員が行うなど経費の節減に努めました。日頃から利用者に声掛けを行い、快適な施設の環境づくりやサービスの質の提供を行い管理運営を適切に行いました。		A	軽微な修繕などは職員が対応し、経費節減に努めています。		意見なし	
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。			A	これまで、センター1階の職員は、カウンター奥の事務所において勤務をしていましたが、令和3年度4月から、センター1階玄関のカウンターに職員が座り、来館される利用者全てにあいさつや声掛けを行うようにしました。それにより、利用者の体調等の状況把握や意見や要望などを直接利用者から聞き対応できました。また、体温測定トラブルや来客等に適切かつ迅速な対応ができました。		A	大きな事故が発生する前に、予防的に措置を講じたり注意喚起をすることが重要です。引き続き、利用者と積極的にコミュニケーションをとり、適切な対応をお願いします。		意見なし	
< 課 題 >			同じエリア内に自治会館、地区福祉委員会のカフェ「いこい」があります。センター内には、子どもの居場所の「スマイル」とNPO法人成年後見センター川西があり、駐車場不足などの共通の問題があります。			特になし			意見なし	
< 改善内容 >			自治会や地区福祉委員会、NPO法人成年後見センター川西と常に情報を共有し、連携して問題や課題に取り組む事業運営します。			引き続き、地域団体と積極的に情報共有、連携しながら、事業運営を進めてください。			意見なし	
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			A			A			(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。			A	初回利用時には、施設利用と登録について丁寧に説明し、健康保険証や運転免許証、マイナンバーカード等で本人確認を行い、利用証を発行しました。他の施設等での内部監査の結果を踏まえ、当センターに該当しないかどうかを確認し、改善が必要な事項については対応しています。		A	身分証明書にて本人確認を行う等適正な手続きを取っています。法人内に監査チームを設置し、法令順守等のチェック体制を整えています。		意見なし	
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。			A	個人情報は鍵のかかる保管庫に入れ、持ち出し禁止にしています。外部からの問い合わせについては、必要かつ緊急時以外には答えないようにしています。		A	個人情報保護の観点から、書類等は鍵付き保管庫に収めるなど、適切に管理されています。		意見なし	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。			A	職員は、当センターを正しく利用されているかどうかを確認するために館内を巡回しています。また、防犯カメラを設置し、センターの内部や外部の安全を確認しています。毎月、消防設備自主点検を行い、非難経路の確認や消火器の位置確認を交代で全職員が実施しています。		A	防犯カメラや職員による巡回など、適切に利用者の安全対策を講じています。		意見なし	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。			A	休館日や夜間の警備は警備会社に委託しています。年2回の火災避難訓練を行い、そのうち1回は消防隊員の立会いの下で実施しています。また、居場所スマイルの子どもたちと一緒に参加するなど火災発生時への備えを行っています。		A	夜間警備等は専門業者に委託し、防災面についても年2回の訓練を実施するなど、適切な危機管理体制を敷いています。		意見なし	
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。			A	新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザなどの感染予防対策や火災避難・事故対応・レジオネラ菌対応等のマニュアルを作成し、職員間で内容を確認しています。		A	災害、事故マニュアルを整備し、対策を講じるとともに、レジオネラ菌等の入浴関連の緊急対応マニュアルも整備し、迅速な対応がとれるよう対策を講じています。		意見なし	

施設名	川西市緑台老人福祉センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	
評価項目及びポイント		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		A	センター内には、施設利用に関する注意等を分かりやすく掲示しています。 また、初回利用者や久しく利用されてない方に対しては、わかりやすく丁寧に館内利用や新型コロナウイルス感染拡大防止の対策について説明をしています。	A	初回利用時に個別に説明を行い、口頭で注意点等を周知するとともに、必要事項をその都度掲示するなど、利用者の理解を得るための配慮がなされています。
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。			非該当		—
＜課 題＞		入浴事業を実施している高齢者施設として、緊急時の対応について研修等を重ねていく必要があります。 軽度の認知症が疑われる方が利用されており、忘れ物や人の物と自分のものを混同されるなど、物忘れによるトラブルが増えています。		特になし	
＜改善内容＞		今後も、救急法の研修や認知症に関する研修を積極的に受け、緊急時や認知症への対応力を高めていきます。 利用者の体調等の変化について、常に声掛けを行ったり気を付けて見守を行います。		利用者が高齢者という施設の特性を考えると、日常の事故防止などの安全対策や注意喚起が重要となります。大きな事故が発生する前に、予防的に措置を講じたり注意喚起をするなど、引き続き、適切な対応をお願いします。	
総 合 評 価		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	
評価ランク		A		A	
・評価できる内容		コロナ禍の中で、センター主催の健康講座により、新たな健康体操グループが誕生したことは大きな成果であり、心身の健康と介護予防に繋がっています。 スカイウェル(交流高圧電位治療器)の継続使用や血圧測定により健康維持に役立っています。 一人暮らし高齢者は、センター利用者同士と交流することで、社会的孤立の防止に繋がっています。 認知症が疑われる利用者や来訪者に対し、交番への付き添いや地域包括支援センター、担当民生委員への連絡などを行い地域での支援へ繋がりました。 また、センターを災害時の避難所として良いか確認に求められた高齢者には、地域福祉課や地域包括支援センター、担当民生委員などに繋げ、災害時の避難行動要支援者登録や地域の見守りに繋がりました。		ひとり暮らし高齢者の孤立感の解消や社会参加、また地域包括支援センターや民生委員などの関係機関と積極的に連携することで、高齢者福祉の充実に貢献しています。 感染症予防対策を行いつつ、趣味の会等の会員の増や施設利用者数の増に向け、ニーズの高い講座の開催の等の検討をお願いします。	
・令和3年度に改善した内容		センター1階玄関のカウンターに職員が座り、来館される利用者全てにあいさつや声掛けを行うようにしました。 それにより、利用者の体調等の状況把握や意見や要望などを直接利用者から聞き対応できました。また、体温測定のトラブルや来客等に適切かつ迅速な対応ができました。		大きな事故が発生する前に、予防的に措置を講じたり注意喚起をするなど、引き続き、利用者への丁寧な声掛けを行い、適切な対応をお願いします。	
・令和3年度に改善したことによる効果		センター1階玄関のカウンターでの対応やセンター内の巡回などで、常に利用者へのあいさつや声掛けを継続して行うことで、利用者の体調把握がある程度できています。また、声掛けにより利用者との信頼関係が築けつつあり、率直な意見や要望、悩みなどを直接聴けて、対応することができました。		日ごろから利用者の方とコミュニケーションをとりながら、様々な意見やニーズを把握できるよう努められています。利用者サービスの向上のため、今後も積極的な実施をお願いします。	
・問題があり次年度以降改善が必要な点		入浴設備において、経年劣化が著しく、令和4年度末までに支障なく入浴を続けられるかどうかという懸念があります。 センターの入り口が1階、実際のセンターは2階であることから、各階の現場で起こっていることがリアルタイムでわからない状況です。トラブルなどにおいても、確認に時間を要する場合があります。		設備の改修については、日常的に点検を実施し大規模修繕とならないよう、計画的に対応してください。また、大規模修繕については、事前に優先順位を決めて市と協議を実施してください。	
・改善方法とその時期		入浴設備において、入浴継続に必要な改修を適宜行う必要があります。 2階のセンターにおいて、防犯カメラを可能な限り多く設置し、1階と2階においても利用者等の状況を常に把握できるように改善することが必要です。		緊急性の高いものから対応するなど、計画的に進めるため市と適切に協議を実施するよう努めてください。	

4